



春日丘地区では、「アフターコロナの春日丘のまちづくりを考える」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和5年1月28日（土）に開催した第3回のワークショップでは、**これからの取組みを考える**ことを目的に4つのグループに分かれて、ワークショップを行いました。

アイスブレイク：もしもゲーム

第2回に引き続き、第3回ワークショップでも、いつも行っているアイスブレイクの時間を少し長めに取り、緊張をほぐしつつ、「**アイデアを出すこと**」のウォーミングアップとして、もしものシーンをみんなで相談してアイデアを出す「もしもゲーム」を行いました。お題は「もしもこのグループが会社の新入社員で、新年会で余興をするとしたらどんな企画をする？」というもの。参加者各々が新入社員の気持ちになって、様々な余興のアイデアが出ていました。

話し合いのウォーミングアップ①

もしも●●だったらで考える企画ゲーム



もしもこのグループが会社の新年会で
「なにか余興をやってよ！」
と社長に言われたらなにをしますか？

「歌を歌う」、「ダンスを踊る」、「漫才をする」などが、提案された他、「マツケンサンバ」を完璧に踊るという班もありました！

◆第3回実施概要

日時 2023.01.28（土）13:30～15:30

会場 春日丘小学校

参加者数 19人

プログラム

- 1 グループごとに自己紹介
- 2 もしもゲーム（アイスブレイク）
- 3 前回の振り返り
- 4 ワーク：もしもこのグループが地域組織から任命された「春日丘活性化アイデア特命チーム」だったら？！
- 5 グループ発表（全体共有）



ワーク：もしもこのグループが地域組織から任命された

「春日丘活性化アイデア特命チーム」だったら?!

アイスブレイク後のワークでは、第2回までの話し合いの中で見えてきた「春日丘の次の担い手の地域参加の機会を作り、育むためには?」、「子どもに様々な機会があり、地域で健やかに育つためには?」、「年齢を重ねても地域で豊かに暮らしていくためには?」、「地域や人のつながりをさらに促進し、つながりを深めるためには?」という4つの重要テーマについて、それぞれのグループが春日丘活性化アイデア特命チームになったつもりで、今後どのような取り組みを進めればいいのか、具体的な活動のアイデアを出し合いました。

○提案されたテーマごとのアイデア（抜粋）

春日丘の次の担い手の地域参加の機会を作り、育むためには?	子どもに様々な機会があり、地域で健やかに育つためには?
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア参加の仕組みづくり、インセンティブ ・会議や行事運営（曜日や時間）の見直し、リモート ・他地域とのノウハウ交流や連携を模索したい ・逆に70歳以上が中心となることを前提とした運営手法 ・SNSでの発信など若い世代が得意なことを任せる ・運動会はプログラムづくりから参加できるように 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナがなければ行事など機会そのものは多い ・子どもの事情にあわせた居場所づくりが必要 ・特に夜の子どもの居場所が重要（図書館に可能性） ・放課後子ども教室と公民館の連携イベント ・子ども会に入っていないなくても参加できる空気づくり
年齢を重ねても地域で豊かに暮らしていくためには?	地域や人のつながりをさらに促進し、つながりを深めるためには?
<ul style="list-style-type: none"> ・大きい病院とかかりつけ医があると安心 ・福祉タクシーの充実による買い物環境 ・買い物に訪れる商店やモールなど生活のシーンに寄り添う高齢者の交流の機会づくり ・公共施設など、すでにあるものを活用した交流 ・コロナ前に行われた神社仏閣を巡ったり懇親を行うような交流の機会は重要 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の担い手の意見交換会を開催したい ・団体ごとに完結せず、横の連携をさらに増やしたい ・小学校での航空写真など全員で会ってみる仕組み ・ニュースポーツなど新しい交流が生まれる機会をつくる ・参加が固定化されている既存行事の参加方法の見直し ・弁天さんの花火等のつどいの場を復活!
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有や意見交換の場をさらにもつ ・年間行事予定表があれば見通しをたてられる ・ひとりひとりが提案型で話すことを意識する ・ワークショップ型のざっくばらんな会議 ・福祉や病院の専門職と連携した行事等の広報依頼 ・女性役員が入りやすい工夫



これで全3回のワークショップが終了しました。今回のワークショップには、春日丘地区の地元企業の方もたくさん参加されておられ、新たな地域のつながりが生まれました。春日丘地区では、このつながりをさらに深め、地元企業とも連携しながら活動を進めていかれるそうです。春日丘地区の今後の展開が楽しみです。